



第73期  
(2021年3月期)  
決算説明資料

2021年5月14日

トーイン株式会社  
証券コード：7923



## 第73期 決算概要

### 注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前年比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## 総括

当連結会計年度の業績については、包装資材事業においては、営業活動が、訪問型営業からリモート営業主体へと大きく変化する中、引き続き当社加飾技術や環境対応資材を中心とした企画提案型の営業活動を継続的に実施いたしました。

その結果、国内の売上は、食品分野の一部及び医薬品分野において前連結会計年度（以下、「前期」という。）比で増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンド需要の消失や消費者の消費行動の変化などで化粧品分野が大幅に減少しました。また、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）及びタイ現地法人（TOIN (THAILAND) CO.,LTD.）の売上も新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、前期比で減少し、売上高は10,146百万円（前期比4.2%減）となりました。精密塗工事業は、需要が増加傾向にあった半導体関連部材が、第2四半期以降は米中ハイテク冷戦による需要先の生産調整の影響を受けましたが、売上高は、696百万円（前期比1.9%増）となりました。その他事業は、受託包装において、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規受注品の生産時期のずれ込みや化粧品分野の企画品や定期品の受注が減少したことなどで、売上高は402百万円（前期比26.0%減）となりました。この結果、グループ全体の売上高は11,245百万円（前期比4.9%減）となりました。

利益面については、包装資材事業は、売上高は前期比で減少しましたが、主に国内において、引続き高効率機械の安定稼働、生産管理体制の強化、品質管理・予防保全策の再徹底などの施策を推進したことで生産効率が向上したことなどによりわずかながら増益となりました。精密塗工事業は、多能工育成による効率化、フレキシブルな生産体制の構築、製造コスト管理の徹底などの諸施策を推進したことなどにより増益となりました。その他事業は、受託包装において、柔軟性のある生産体制の編成などで採算性の確保に努めましたが、売上高が大幅に減少したことで減益となりました。

この結果、当期の営業利益は5百万円（前期比74.8%減）、経常損益は持分法投資損失の計上などにより経常損失72百万円（前期は11百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益の計上などにより118百万円（前期比56.4%増）となりました。

## <当年度のトピックス>

### 【生産設備面】

- 柏第三工場増設工事竣工  
(2021年3月末操業開始)  
及び
- 既存柏第三工場リニューアル実施

増設工場\_外観



増設工場\_内観



リニューアル工事一部 (ショールーム)



### 【技術面】

- 新事業
  - ・ EASY ORDER LABEL事業を立ち上げる  
(クラフトビールラベル等のウェブ受注)
- 環境
  - ・ 段ボール素材とバイオマスインキを使用した高級品パッケージを製造
  - ・ バイオマスフィルムをパッケージのラミネートに採用
- その他
  - ・ プリントブルメタルをパッケージに採用
  - ・ トーインオリジナルメタリックフィルム (特許出願中)
  - ・ S I A A (一般社団法人 抗菌製品技術協議会) に入会  
抗菌コート材、抗ウイルスコート材を使用した印刷物 (パッケージ、ラベル) を製造

### 【その他】

- 代表取締役を2名体制にする (2021年4月～)  
代表取締役会長 兼 CEO 春 公明 ・ 代表取締役社長 兼 COO 高橋 太
- 「経営方針」を改訂 (本資料20ページ)
- 大阪営業所を西日本支社に改称
- ウェブサイトを全面リニューアル

## 第73期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第72期		第73期		対前期比	備 考
売 上 高	11,819	% 100.0	11,245	% 100.0	△574	
売 上 原 価	9,877	83.6	9,445	84.0	△431	
売 上 総 利 益	1,942	16.4	1,800	16.0	△142	
販売費及び一般管理費	1,918	16.2	1,794	16.0	△124	
営 業 利 益	23	0.2	5	0.1	△17	
営 業 外 収 益	57	0.5	48	0.4	△9	
営 業 外 費 用	70	0.6	127	1.1	57	
経 常 利 益	11	0.1	△72	△0.6	△84	
特 別 利 益	106	0.9	268	2.4	161	
特 別 損 失	7	0.1	6	0.1	△0	
税金等調整前当期純利益	110	0.9	189	1.7	78	
法 人 税 等	37	0.3	74	0.7	37	
当 期 純 利 益	73	0.6	114	1.0	41	
非支配株主に帰属する 当 期 純 利 益	△2	△0.0	△3	△0.0	△1	
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	75	0.6	118	1.1	42	

## 第73期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	第72期		第73期		対前期比	備 考
		%		%		
流動資産	7,347	41.1	7,319	40.4	△28	
固定資産	10,544	58.9	10,780	59.6	236	
有形固定資産	7,618	42.5	7,773	43.0	155	建物及び構築物 493 機械及び装置 △ 429    建設仮勘定 77
無形固定資産	29	0.2	16	0.1	△12	
投資その他の資産	2,896	16.2	2,990	16.5	93	投資有価証券（関係会社株式含む） 65
《資産合計》	17,891	100.0	18,099	100.0	207	
流動負債	5,089	28.4	5,109	28.2	20	
固定負債	3,789	21.2	3,715	20.6	△74	
《負債合計》	8,879	49.6	8,825	48.8	△53	
株主資本	8,099	45.3	8,154	45.1	55	
資本金	2,244	12.5	2,244	12.4	—	
資本剰余金	2,901	16.2	2,901	16.0	—	
利益剰余金	3,664	20.5	3,720	20.6	55	
自己株式	△ 711	△ 4.0	△ 711	△ 3.9	—	
その他の包括利益累計額	863	4.8	1,075	5.9	212	その他有価証券評価差額金 139
非支配株主持分	50	0.3	43	0.2	△6	
《純資産合計》	9,012	50.4	9,274	51.2	261	
《負債 純資産合計》	17,891	100.0	18,099	100.0	207	

## 第73期 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株 主 資 本					計	そ の 他 包 括 利 益 累 計 額	非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 株 己 式					
当連結会計年度期首残高	2,244	2,901	3,664	△ 711	8,099	863	50	9,012	
当連結会計年度変動額									
剰余金の配当			△ 62		△ 62			△ 62	
親会社株主に帰属する 当期純利益			118		118			118	
株主資本以外の項目の 当期変動額						212	△ 6	206	
当連結会計年度変動額合計	—	—	55	—	55	212	△ 6	261	
当連結会計年度末残高	2,244	2,901	3,720	△ 711	8,154	1,075	43	9,274	

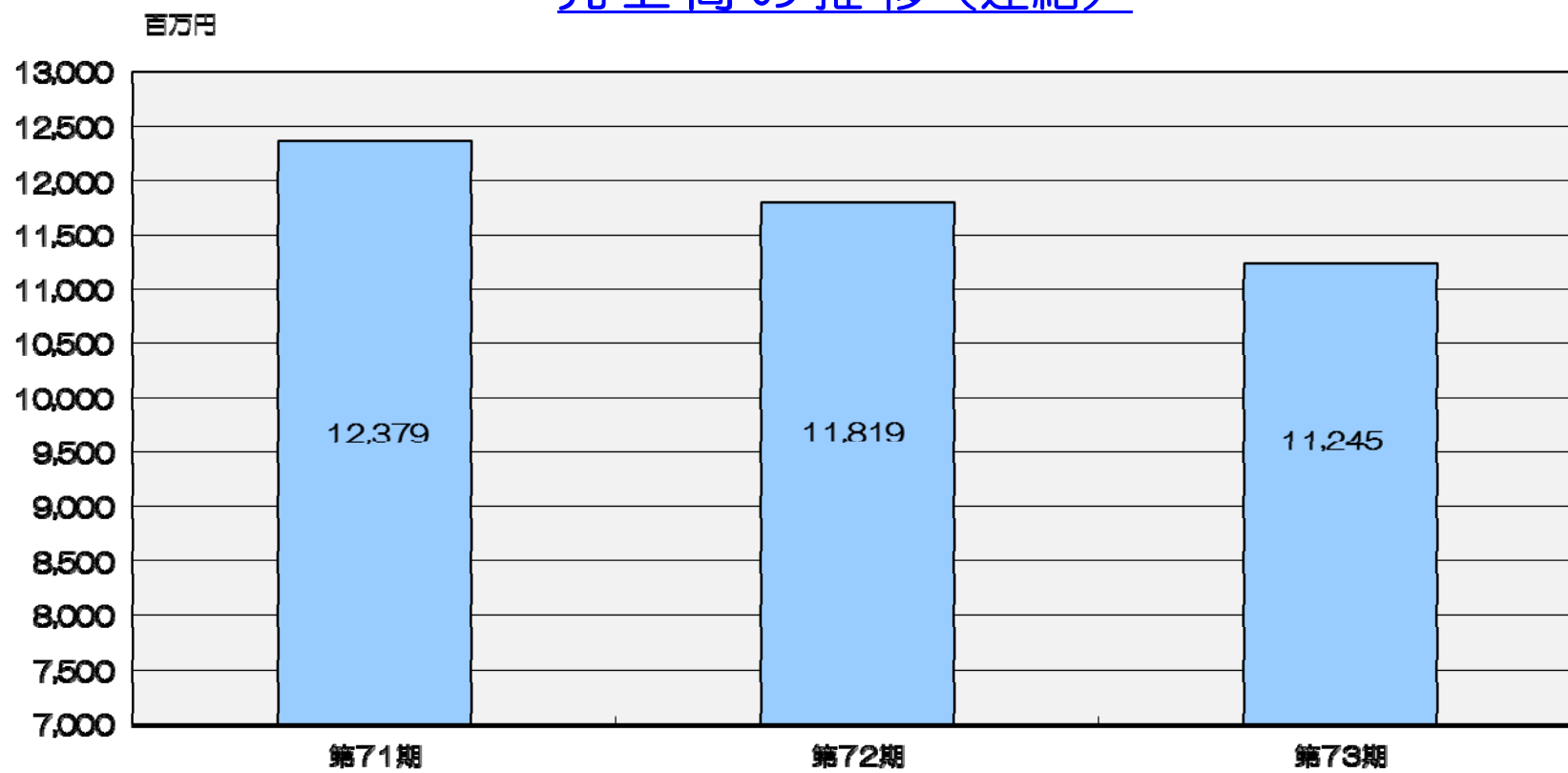
## 第73期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

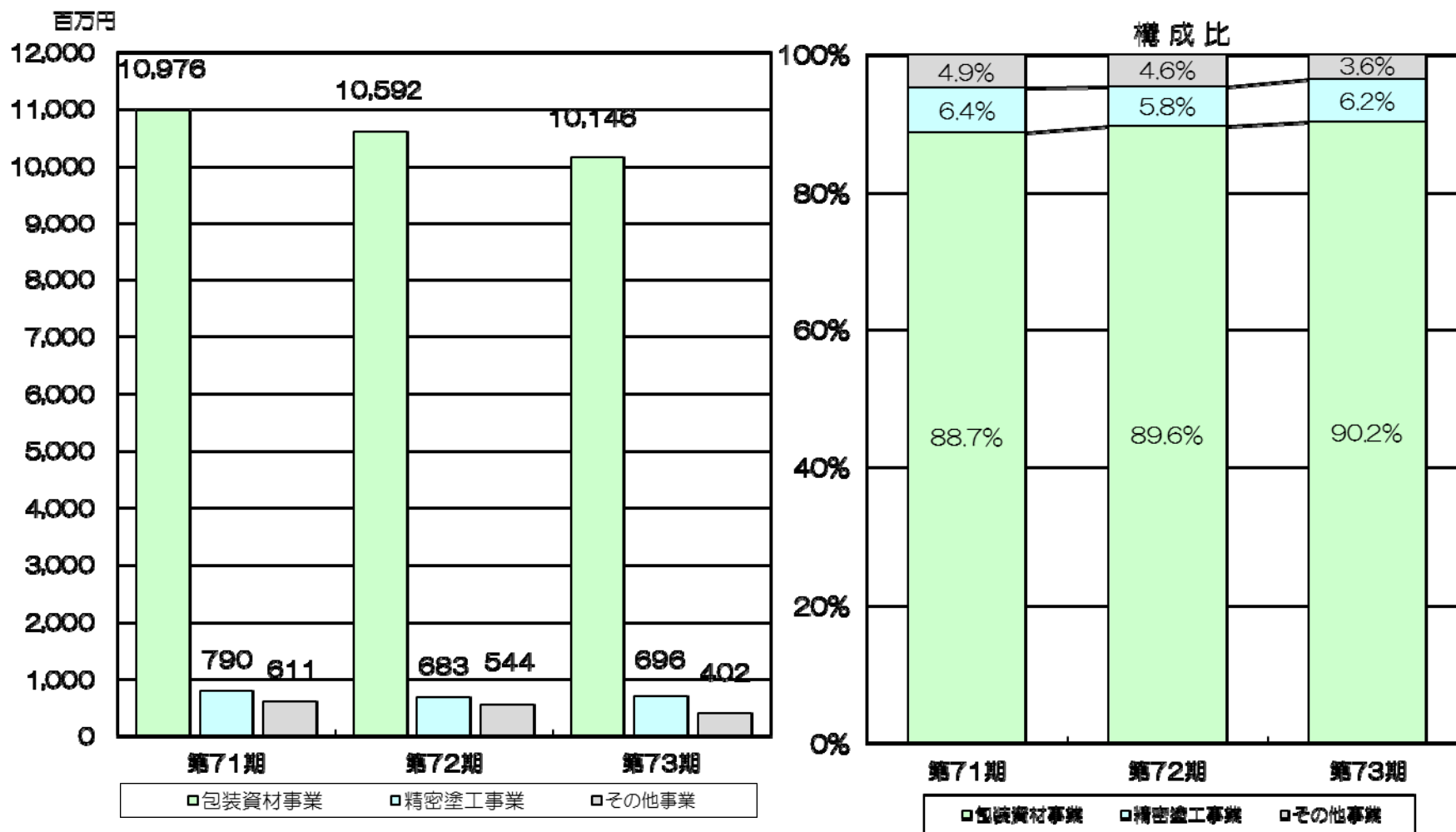
	第72期	第73期	備 考
営業活動によるキャッシュ・フロー	742	829	減価償却費 885 仕入債務の減少 △ 194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,020	△770	有形固定資産取得の取得 △ 983 投資有価証券の売却 351
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 256	△ 41	借入金の増減額 30 配当金の支払額 △ 62
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	△ 19	
現金及び現金同等物の増減額	△ 523	△ 1	
現金及び現金同等物の期首残高	2,779	2,256	
現金及び現金同等物の期末残高	2,256	2,254	



## 売上高の推移（連結）

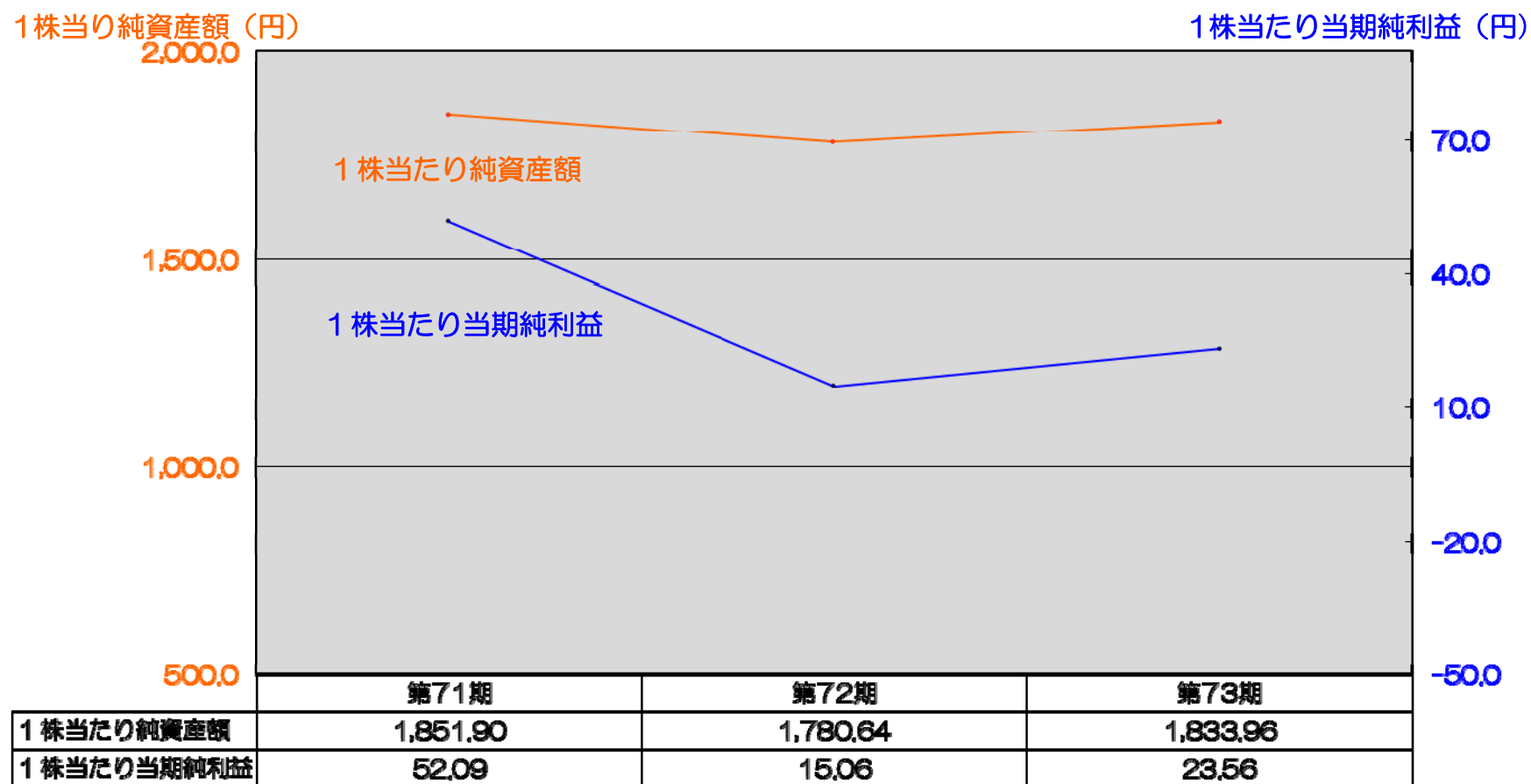


## 事業別売上高（連結）

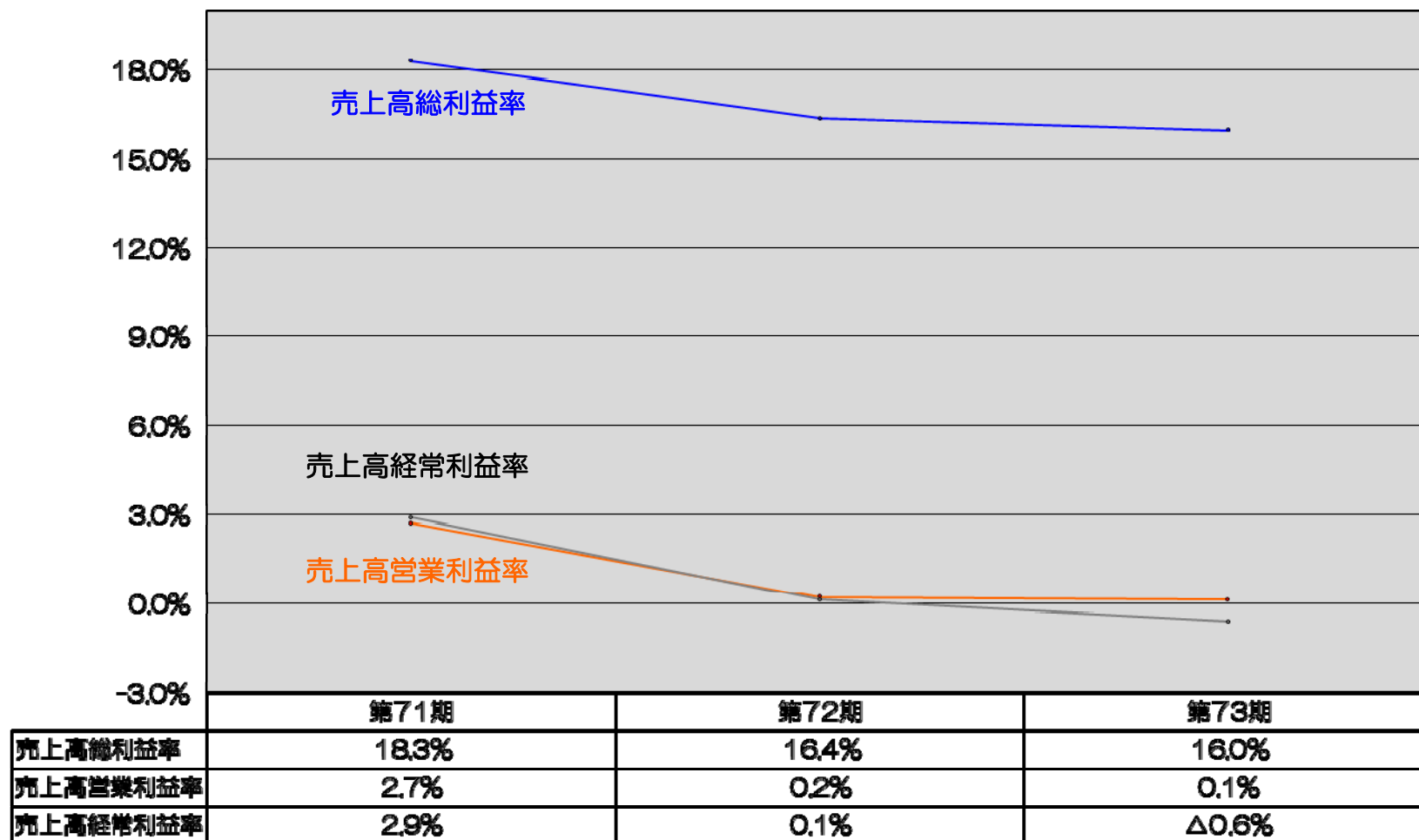


經營指標（連結）

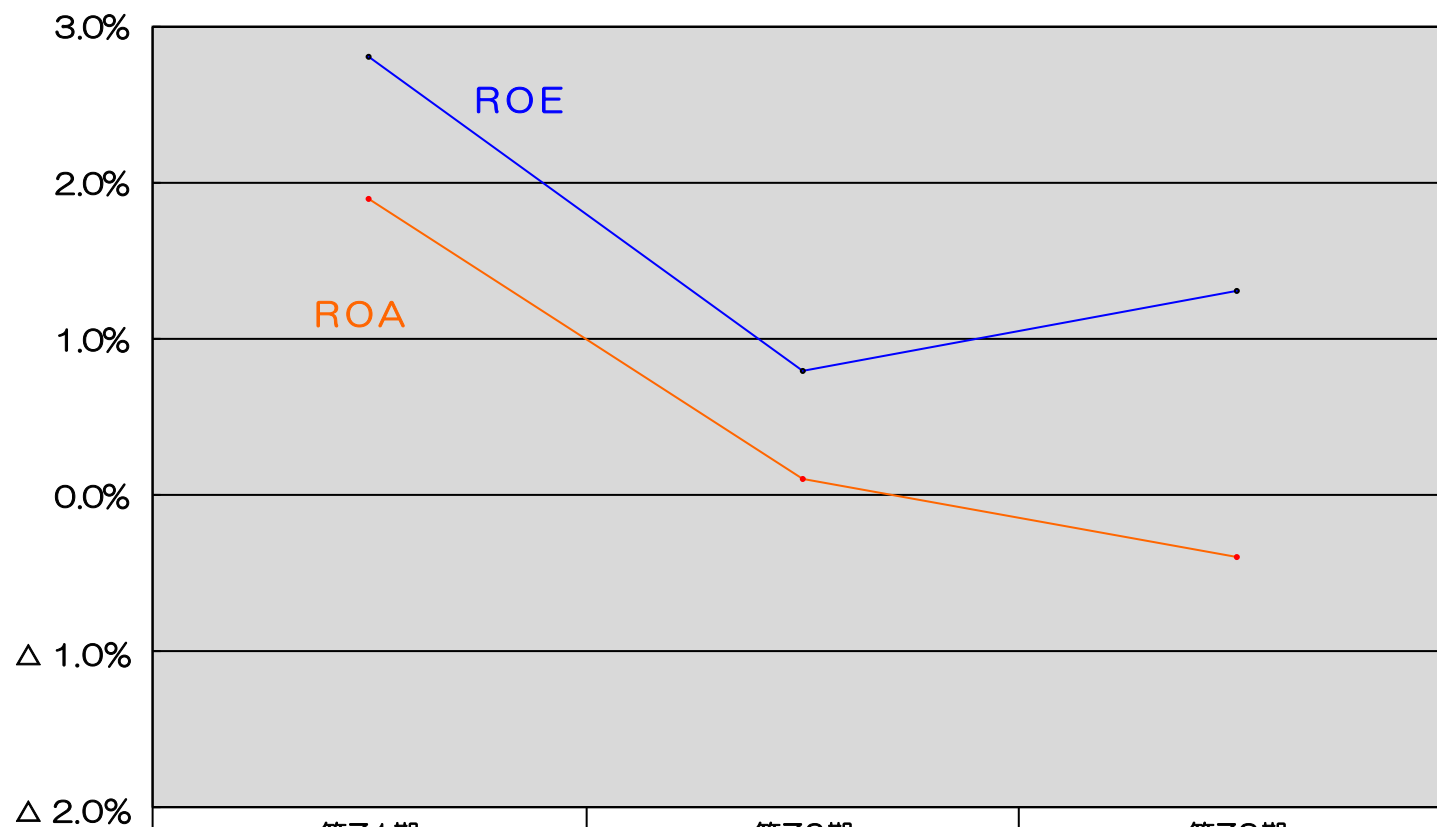
## 経営指標 I (連結)



## 経営指標Ⅱ（連結）



## 經營指標Ⅲ (連結)



	第71期	第72期	第73期
ROA(総資本当期経常利益率)	1.9%	0.1%	Δ 0.4%
ROE(株主資本当期純利益率)	2.8%	0.8%	1.3%

第74期  
(2022年3月期)

連結業績予想

## 第74期の業績予想について

今後の見通しについては、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の国内外での流行の長期化が予想され、インバウンド需要の回復は見込めず、また、渡航・外出の抑制や雇用・所得環境の悪化などによる個人消費の低迷などから主に非製造業を中心とした企業業績の不振が続くことなどで景気回復には時間を要すると予想されます。また、米中貿易摩擦が長引くなど厳しく不透明な経済状況が続くことが予測されます。

包装資材事業をめぐる情勢については、新型コロナウイルス感染症の収束には今しばらくの時間を要することや雇用環境の悪化、少子高齢化の進行による将来不安などにより、個人消費の低迷は長期化すると予想されるなど非常に厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは、経営管理体制および業務執行体制の強化を図り、厳しい経営環境に迅速に対応するとともに、引き続きお客様に当社製品を安定的に供給するために新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を継続することや、業容の維持・拡大を目指し、新規分野の開拓、環境や衛生面に配慮した材料・製品の企画提案、差別化された商品・技術の開発などで競争優位性の確保・拡大に注力してまいります。また、SDGsへの取組みを推進するとともに次世代を担う幹部・管理職・従業員育成のための取組みをさらに充実させてまいります。

包装資材事業については、まず営業面で、引き続き当社デザイン・加飾技術力のアピールや企画提案型の営業活動を継続的かつ、きめ細かに実施し、化粧品分野の受注回復さらに拡大、医薬品・食品・日用品分野の既存客先からの受注拡大と新規客先の開拓、ラベル部門での新規分野・新規客先の開拓に積極的に取り組むとともに、採算性を一層重視した受注活動に注力してまいります。また、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）及びタイ現地法人（TOIN (THAILAND) CO., LTD.）は、既存客先からの増注を図るとともに、さらなる当社グループの連携強化と協力会社ネットワーク拡大を推進し東南アジア全域の日系企業、外資系企業ならびにベトナム及びタイ国内のローカル大手企業のさらなる開拓、増注を図ってまいります。生産面においては、内作生産能力増強を目的として拡張した柏第三工場のアフターコロナを見据えた効率的な工場運営の確立、省人化・省力化・省エネルギー化の一層の推進、品質管理体制の一層の強化、DX推進による業務プロセスの改革と品質・生産性向上の検討、外部協力会社のネットワーク拡大等を推進するとともに、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）は、品質保証体制の再構築、新技術の習得、最適な材料調達ルート確立のための諸施策の実行と内部管理体制の一層の改善・強化を図り、収益基盤の安定化に努めてまいります。

精密塗工事業については、新たな商品開発での事業範囲の拡大を推進することなどで新規分野・新規客先の需要先の開拓に注力するとともに、生産面では、生産体制の整備を図り、引き続き高品質な商品提供ときめ細かなサポートにより売上の拡大・安定と収益性の向上による事業の安定化を目指してまいります。

その他事業については、デザインからアッセンブルまでの一貫性をセールスポイントに、医薬部外品・化粧品・食品製造の許認可を活用しつつ、定期的な商品の受注拡大に注力するとともに、生産面では、フレキシブルな生産体制の編成、省人化・省力化・機械化の推進、外注網の整備等で生産力の向上を図るとともにHACCP取得により品質保証体制を一層強化し、コスト競争力の強化に努めてまいります。

2022年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高11,600百万円、営業利益100百万円、経常利益60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益10百万円を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

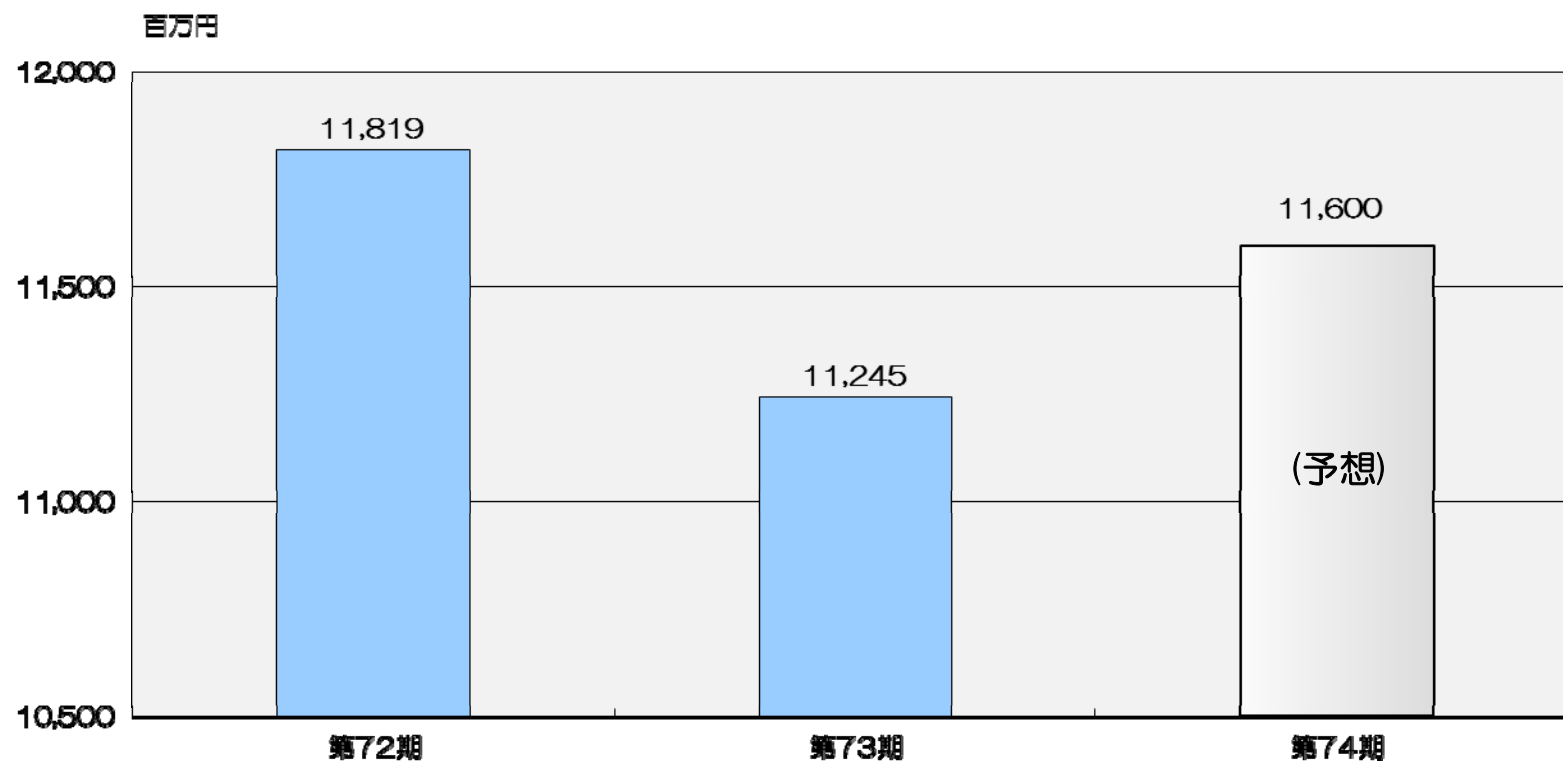


## 第74期の連結業績予想

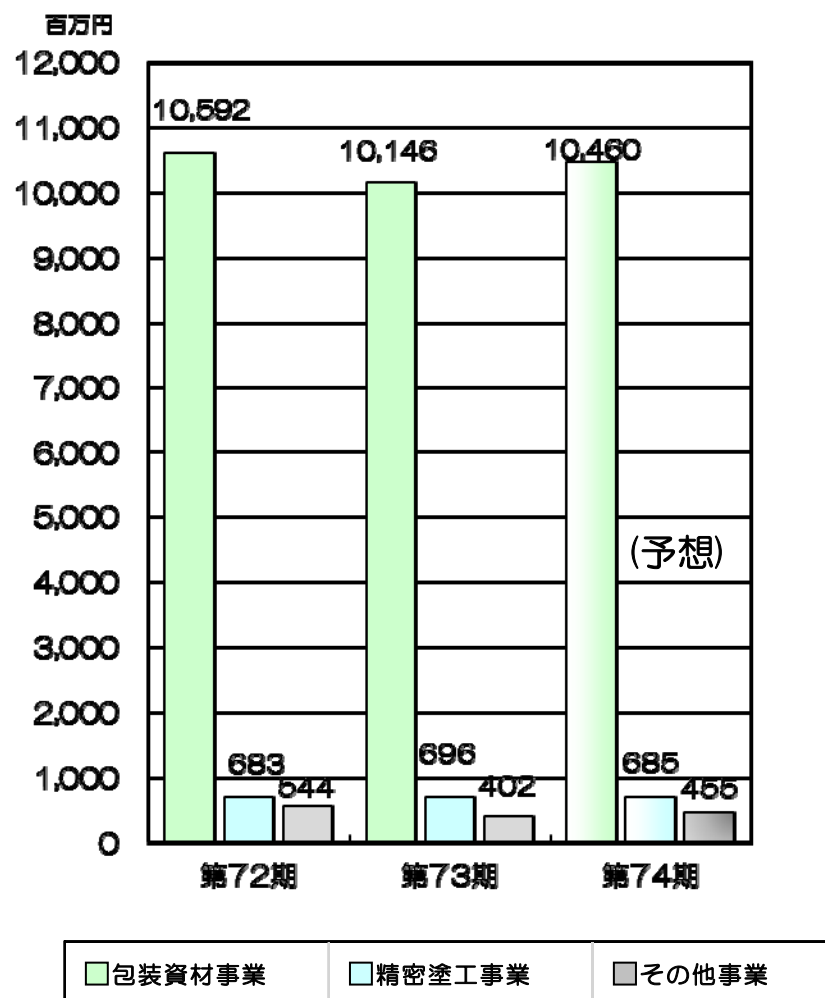
(単位：百万円)

	通 期(予想)	
売 上 高	11,600	100.0%
営 業 利 益	100	0.9
経 常 利 益	60	0.5
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	10	0.1

## 通期売上高(連結)



## 事業別売上高（連結）



## 経 営 方 針

当社は、経営理念に基づき、お客様の製品づくりや商品販売の一翼を担っているという誇りと責任感を常に持ち、

- ①包装資材事業を中心に、良質な製品を適時に、かつ、十分に供給いたします。  
特に、環境や社会に十分に配慮した素材や製品を開発し供給いたします。
- ②長年の知識・経験と技術力をベースとして技術革新に挑み、「よきモノづくり」を極めること、きめ細かいサービス提供に徹することで、お客様のご要望にお応えすることを目指します。
- ③それらを進めることで、株主様、お客様、取引先様、地域社会の皆様、そして、従業員などのすべてのステークホルダーの皆様の多様なニーズに的確にお応えし、豊かな社会への貢献を目指します。

### <経営理念>

- お客様に学べ、それが社会への貢献につながる
- 技術革新に挑め、それが会社の発展につながる
- 夢と利益を追え、それが皆の幸福につながる

## 企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

# トーン株式会社

## 《事業所》

### ◎東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2  
TEL：03-5627-9111(代) FAX：03-3638-1134

### ◎西日本支社

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-1-27  
TEL：06-6136-4351(代) FAX：06-6136-4363

### ◎本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十余二16-1  
TEL：04-7131-2111(代) FAX：04-7132-6937

### ◎野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5  
TEL：04-7120-8805(代) FAX：04-7120-8017

## 《子会社》

◎TOIN(THAILAND)CO., LTD. (トーンタイランド)  
タイ王国バンコク市

◎TOIN VIETNAM CO., LTD. (トーンベトナム)  
ベトナム社会主義共和国ビンズン省

## 《関連会社》

◎Printing Solution Co., Ltd. (P S C社)  
タイ王国バンコク市



○ホームページURL <https://www.toin.co.jp>

○本資料に関するお問合せ

経営企画部 TEL：03-5627-9111 FAX：03-3638-1131